

名前 _____

日付 _____

得点 _____

1 / 4

1 答 2 親切はめぐって自分に返る

【情けは人のためならず】人への親切は、めぐりめぐって自分に返ってくる

- × 1 最も多い誤解。「ならず」を「ためにならない」と読んでしまう
- × 3 同情の是非を説く言葉ではない
- × 4 厳しさを説く言葉ではない

覚え方 「人のためだけではない」という意味。自分にも返る

例 情けは人のためならずというから、進んで手伝おう。

2 答 2 他人の失敗も自分の役に立つ

【他山の石】他人の失敗や欠点も、自分をみがく役に立つ

- × 1 立派な手本という意味で使うのは誤り
- × 3 それは「対岸の火事」の意味
- × 4 障害という意味はない

覚え方 よその山の粗い石でも、玉をみがく道具になるという故事から

例 あの失敗を他山の石として、同じ過ちを避けたい。

3 答 2 つまらないものでもないよりはまし

【枯れ木も山のにぎわい】つまらないものでも、ないよりはあったほうがよい

- × 1 ほめ言葉として使うのは誤り。自分に使う謙遜の言葉
- × 3 古さを評価する言葉ではない
- × 4 自然保護の話ではない

覚え方 枯れ木でも山の景色の一部になる、という控えめな意味

例 枯れ木も山のにぎわいと思って参加します。

4 答 2 流れに乗って勢いを増す

【流れに棹さす】流れに乗って、いっそう勢いを増す

- × 1 「逆らう」という逆の意味に取られやすい
- × 3 止めるという意味はない
- × 4 見守るという意味はない

覚え方 棹（さお）で川底を押して、舟を進める動作から

例 好調の流れに棹さして、一気に勝負を決めた。

5 答 1 かわいい子には旅をさせよ

【かわいい子には旅をさせよ】子を思うなら、苦労を経験させたほうがよい

- × 2 世の中には情け深い人もいるという意味
- × 3 似た者どうしが集まる意味
- × 4 笑っていれば幸運が来る意味

覚え方 甘やかさず、苦労を経験させることが本当の愛情だという教え

例 かわいい子には旅をさせよというから、一人で行かせよう。

名前 _____

日付 _____

得点 _____

2 / 4

6 答 2 用心のうえにも用心を重ねる**【石橋をたたいて渡る】**用心のうえにも用心を重ねる

- × 1 それは「危ない橋を渡る」の意味
- × 3 実際に橋を確認する話ではない
- × 4 それは「背水の陣」に近い

覚え方 頑丈な石橋でさえ、たたいて安全を確かめてから渡ることから

例 彼は石橋をたたいて渡る慎重な性格だ。

7 答 2 苦勞せずに大きな利益を得る**【ぬれ手で粟】**苦勞せずに、大きな利益を得る

- × 1 苦勞するという意味ではない
- × 3 手がふさがる話ではない
- × 4 それは「骨折り損のくたびれもうけ」

覚え方 ぬれた手で粟をつかむと、たくさんくつつくことから

例 ぬれ手で粟のような話には気をつけたい。

8 答 2 役目が実力に対して軽すぎる**【役不足】**その人の実力に対して、役目が軽すぎる

- × 1 「力不足」と混同されやすい。意味は正反対
- × 2
- × 3 人数の話ではない
- × 4 準備の話ではない

覚え方 「役」が「不足」している。人ではなく役目が足りない

例 彼にこの仕事は役不足だ。もっと重い任務を任せたい。

9 答 2 因果応報**【因果応報】**行いの善悪に応じて、報いが返ってくる

- × 1 自分の悪い行いで災いを招く意味。悪い場合のみ
- × 3 情け深い人もいるという意味
- × 4 似た者どうしが集まる意味

覚え方 四字熟語にも分類される。善悪どちらにも使う

例 因果応報というが、誠実さは必ず報われる。

10 答 2 小さく弱いものにも意地がある**【一寸の虫にも五分の魂】**小さく弱いものにも意地があり、ばかにできない

- × 1 命の尊さを説く言葉ではない
- × 3 自分を卑下する言葉ではない
- × 4 力の大小の話ではない

覚え方 一寸（約3cm）の虫にも、その半分の五分の魂があるという意味

例 一寸の虫にも五分の魂、弱い者を侮ってはいけない。

名前 _____

日付 _____

得点 _____

3 / 4

11 答 2 誰でも身なりを整えれば立派に見える

【馬子にも衣装】誰でも、身なりを整えれば立派に見える

- × 1 身分の高い人の話ではない
- × 3 戒めの言葉ではない
- × 4 服の価値の話ではない

覚え方 馬子は馬をひく仕事の人。目上の人には使わない

例 馬子にも衣装で、制服を着ると別人のようだ。

12 答 2 他人のために働いて自分のことは手つかず

【紺屋の白袴】他人のために働いて、自分のことは手つかずである

- × 1 清潔さを説く言葉ではない
- × 3 似合う服の話ではない
- × 4 公私の区別の話ではない

覚え方 紺屋は染め物屋。人の着物は染めるのに、自分は白い袴のまま

例 美容師なのに自分の髪は手つかず、紺屋の白袴だ。

13 答 2 渡る世間に鬼はない

【渡る世間に鬼はない】世の中には、情け深い人もいる

- × 1 簡単に信用するなという逆の意味
- × 3 関わらなければ災いはない意味
- × 4 知らなければ心が乱れない意味

覚え方 「人を見たら泥棒と思え」と対になる

例 渡る世間に鬼はない、助けてくれる人はいる。

14 答 2 幸運は焦らず、時を待つのがよい

【果報は寝て待て】幸運は焦らず、時を待つのがよい

- × 1 何もしなくてよいという意味ではない
- × 3 休息の話ではない
- × 4 それは「先んずれば人を制す」の意味

覚え方 やるべきことをしたうえで、結果を焦らず待つという意味

例 できることはやった。果報は寝て待てだ。

15 答 2 少しの違いで本質は同じ

【五十歩百歩】少しの違いで、本質は同じである

- × 1 差が大きいという意味ではない
- × 3 実際の距離の話ではない
- × 4 数の比較の話ではない

覚え方 故事成語。五十歩逃げた者が百歩逃げた者を笑った話から

例 どちらも準備不足で、五十歩百歩だ。

名前 _____

日付 _____

得点 _____

4 / 4

16 答 2 争いに乗じて第三者が利益を得る

【漁夫の利】争っている間に、第三者が利益を得る

- × 1 漁業の話ではない
- × 3 感謝を説く言葉ではない
- × 4 努力の話ではない

覚え方 故事成語。シギとハマグリが争う間に漁師が両方捕らえた話から

例 二社が争う間に、他社が漁夫の利を得た。

17 答 2 去るときはきれいに始末をする

【立つ鳥あとを濁さず】去るときは、きれいに始末をする

- × 1 環境の話ではない
- × 3 鳥の習性の話ではない
- × 4 静かさの話ではない

覚え方 水鳥が飛び立つとき、水を濁さないことから

例 立つ鳥あとを濁さず、机を片づけてから帰ろう。

18 答 2 中途半端で役に立たない

【帯に短したすきに長し】中途半端で、役に立たない

- × 1 ちょうどよいという逆の意味
- × 3 便利さの話ではない
- × 4 長さだけの問題ではない

覚え方 帯にするには短く、たすきにするには長い、という半端さ

例 この部屋は帯に短したすきに長しで、使いにくい。

19 答 2 細部にとらわれて全体が見えない

【木を見て森を見ず】細かい点にとらわれて、全体が見えていない

- × 1 自然保護の話ではない
- × 3 実際に迷う話ではない
- × 4 価値の話ではない

覚え方 一本一本の木を見て、森全体を見ていないことから

例 細部にこだわりすぎて、木を見て森を見ずになっている。

20 答 2 手に入る前からあてにして計画を立てる

【とらぬ狸の皮算用】手に入る前から、あてにして計画を立てる

- × 1 狩猟の話ではない
- × 3 動物愛護の話ではない
- × 4 計画性をほめる言葉ではない

覚え方 まだ捕らえていない狸の皮を売る計算をすることから

例 当選前から使い道を考えるのは、とらぬ狸の皮算用だ。